

# 平成 30 年度 第 2 回 上越市スポーツ推進審議会 次第

日 時 平成 30 年 12 月 10 日 (月) 午後 2 時から  
会 場 教育プラザ事務所棟 2 階 202 会議室

## 1 開 会

2 あいさつ 上越市スポーツ推進審議会委員長 土田 了輔

## 3 報告事項

- (1) (仮称) 上越市体操アリーナ整備事業について
- (2) 新潟県立武道館新築工事の進捗状況について
- (3) 平成 30 年度東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業について

## 4 議 題

- (1) 平成 30 年度スポーツ推進事業実施状況について (中間)
- (2) 平成 31 年度の予算方針 (案) について

## 5 そ の 他

## 6 閉 会

### <配布資料>

- ・ 次第、名簿、座席表
- ・ 資料 1 (仮称) 上越市体操アリーナ整備の進捗について
- ・ 資料 2 新潟県立武道館新築工事の進捗状況について
- ・ 資料 3 平成 30 年度 東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業について
- ・ 資料 4 平成 30 年度スポーツ推進事業実施状況について (中間)
- ・ 資料 5 平成 31 年度の予算方針 (案)

## (仮称) 上越市体操アリーナ整備事業の進捗状況について

### 1 事業の進捗状況について

#### (1) (仮称) 上越市体操アリーナ新築工事

工種		年月		平成 30 年						平成 31 年								
		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
仮設工事・準備工事		■	■	■														
杭工事				■	■													
基礎工事						■	■											
外部工事	鉄骨・屋根工事									■	■	■	■					
	外装工事											■	■	■	■			
	内装工事													■	■	■	■	■
外構工事														■	■	■	■	■

- ・契約工期 平成 31 年 11 月 30 日の工事完了に向けて、工程どおりに進捗している。
- ・工事現場の近況写真（平成 30 年 11 月 22 日現在）



#### (2) 東京オリンピック採用器具の内定

- ・東京オリンピックの体操競技で採用する器具が、「日本・ドイツ・フランスの 3 か国のメーカーでつくる共同事業体のものを使用する」ことが内定した。
- ・種目ごとの採用器具メーカーが公式発表され次第、(仮称) 上越体操アリーナへの導入器具の選定を進める予定。

### 2 今後のスケジュールについて

平成 31 年 11 月末	(仮称) 上越市体操アリーナ新築工事完了
12 月	(仮称) 上越市体操アリーナ竣工、引き渡し
12 月～	体操器具等の備品の搬入
平成 32 年 1 月～	供用開始に向けた準備開始
3 月下旬～4 月	プレオープン、オープン記念イベント、供用開始 (予定)
7 月	東京オリンピック・パラリンピック ドイツチーム事前合宿
7 月 24 日～	東京 2020 オリンピック競技大会 ～8 月 9 日
8 月 25 日～	東京 2020 パラリンピック競技大会 ～9 月 6 日

## 新潟県立武道館新築工事の進捗状況について

### 1 進捗状況と今後の予定

- ・ 本事業は、受注者が施設の設計及び施工を行った後、県に所有権を移転し、事業期間終了まで施設の維持管理・運営を行う方式
- ・ 平成 29 年 3 月に県と受注者（鹿島建設グループ 代表 鹿島建設㈱北陸支店）で契約を締結（契約額：9,031,770,908 円（税込））
- ・ 平成 30 年 3 月から本体工事に着手し、現在の進捗状況は約 50.0%で計画どおり（躯体工事や屋根工事を実施中）
- ・ 平成 31 年 9 月に竣工し、オープン準備を行い、同年 12 月にオープン
- ・ 維持管理・運営は、㈱PFI新潟県立武道館サービスで平成 46 年 3 月末まで実施

#### 【工事の状況】



（ 外 観 ）



（ 内 観 ）

### 2 事業概要

#### (1) 施設

- ・ 所在地 上越市戸野目古新田 375（上越総合運動公園内）
- ・ 敷地面積 22,950 m<sup>2</sup>
- ・ 延床面積 13,035 m<sup>2</sup>
- ・ 主な施設 武道場（大道場、小道場、弓道場、相撲場）、諸室（会議室、研修室、トレーニング室、談話スペース、ギャラリー）、駐車場 300 台、駐輪場 263 台 など

#### (2) 運営（予定）

- ・ 開館時間 9：00～21：30（夏季の土日は7：00開館）
- ・ 休館日 毎週火曜日（祝日は開館）、12月29日～1月1日
- ・ 利用料金 平成 30 年 12 月決定予定

## 平成30年度東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業の取組状況について

## 1 ドイツ柔道選手団の合宿受入について

- (1) 合宿期間 平成30年8月6日(月)から17日(金)(11泊12日)  
 (2) 受入人数 23人(ドイツ柔道連盟役員1人、パラ柔道選手5人、U21選手13人、  
 コーチ3人、理学療法士1人)

## (3) 合宿内容

## ① 練習相手

パラリンピック柔道全日本ナショナルチーム(11人)、新潟県警(16人)、順天堂大学(15人)、北陸大学(28人)、福井工業大学(24人)、上越高等学校(16人)、上越総合技術高等学校(5人)等 計133人

## ② 練習内容

主に高田スポーツセンターを会場に、午前9時30分から午前11時30分まで、午後4時から午後6時までの1日2回、計4時間程度の練習を行った。日本人選手からの技の指導のほか、ドイツ柔道選手と日本人柔道選手の乱取りが行われた。

## (4) 交流事業

## ① 上越高等学校生徒との交流(8月10日)

上越高等学校の生徒(柔道部、料理部)と太巻きずし、稲荷ずし作りを通しての交流が図られた。また、料理部員は豚汁のつけ麺を振る舞った。

## ② 小中学生柔道家との交流(8月11日)

ドイツパラリンピック柔道選手に加え、パラリンピック柔道全日本ナショナルチームと上越地区柔道連盟所属の小中学生柔道選手が練習を通しての交流や、パラリンピック柔道全日本ナショナルチームによるパラリンピック柔道のルール説明が行われた。

## ③ 市内観光等(8月10日、8月14日)

上越市立水族博物館うみがたりや高田城三重櫓、春日山神社を訪れたほか、海水浴や岩の原ワインや酒蔵の見学などを通して上越市の魅力を体験した。

## (5) ドイツ選手団の感想

- 全体を通してよい合宿だった。市や市柔道連盟のスタッフには温かくて親切な対応をしていただき感謝している。
- 多くの日本人柔道家と非常に良い練習ができ、いい意味で驚かされた。
- 小中学生との柔道交流、上越高校生との料理交流も非常に良かった。特に料理交流では日本の文化を学ぶことができたし、柔道家以外の人たちと交流することができた。

## (6) 今後の取組

- 今回の合宿結果を持ち帰り、今年中に2020年の合宿について組織決定されるものと思われる。
- 引き続きドイツ柔道連盟等と連絡を取りながら招致実現に向けて取り組んでいく。



【練習相手の大学生との集合写真】



【酒蔵見学】

## 2 イベントの開催について

## (1) オリンピアン交流会

東京オリンピック・パラリンピックに向けた市民の機運を高めるとともに、市内の新体操ジュニア選手の競技力向上を図るため、日本代表オリンピックによる交流会を開催した。

- ① 日 時：平成30年11月10日(土)午後1時～3時30分  
 ② 会 場：かきざきドーム メインアリーナ  
 ③ 講 師：畠山 愛理 氏(2016リオデジャネイロオリンピック 新体操団体8位入賞)  
 ④ 参加者：350人  
 ⑤ 内 容：

## ・畠山氏のトークコーナー

新体操との出会いからオリンピックまでの道のり、新体操から学んだことなどについてお話しいただいた。

## ・新体操ジュニア選手への実技指導

上越地域の新体操ジュニア選手67人に対し、畠山氏からボールを使った指導やアドバイスを行っていただいた。

## ・新体操体験コーナー

年長児19人を対象にした体験コーナーにおいて、リボンを使った指導をしていただいた。

・その他、ジュニア選手の演技披露、畠山氏のダンス披露、抽選会を行った。



【実技指導の様子】

## (2) 教育コラボ2018 学び愛フェスタ

11月の「上越市教育を考える市民の月間」の中心的なイベントとして開催される「教育コラボ2018 学び愛フェスタ」に併せて、ホストタウン推進事業の各種イベントを同時開催した。

- ・日 時：平成30年11月17日(土)  
 ・会 場：高田公園オーレンプラザ

## ○ドイツ文化講演会

- ・講 師：カール・ベクス氏(建築デザイナー)  
 ・演 題：暮らして感じるドイツと日本の文化の違い  
 ・参加者数：220人

## ○ドイツ料理教室

- ・講 師：門倉 多仁亜 氏(料理研究家)  
 ・参加者数：20人(事前抽選)  
 ・メニュー：グーラッシュ、きゅうりのサラダ、マッシュポテト、りんごとサワークリームのケーキ

## ○パラスポーツ「ボッチャ」体験会

- ・協 力：オリンピック・パラリンピック等経済界協議会  
 川崎 由香 氏(東京ガス株)  
 スポーツボランティア11人  
 ・参加者数：170人

## ○ドイツ大使館絵画コンテスト移動展覧会

- ・展示作品：ドイツ大使館絵画コンテスト「わたしのドイツ2017」  
 ※2017年のテーマは「カラフルドイツ」  
 ・展示数：小・中学生作品 計50点



【ドイツ文化講演会】



【ドイツ料理教室】

□ 目標

スポーツ活動に対する市民への意識啓発に取り組むとともに、体育協会、総合型地域スポーツクラブ等を中心として地域ぐるみのスポーツ活動の推進を図ります。

□ 成果指標と達成状況

評価内容	平成 30 年度	達成状況 (9 月末)
スポーツイベントの参加率 ※参加率＝市、市体協、総合型地域スポーツクラブ等が主催する大会・教室等の延べ参加者数/人口 <現状値：H27> 89.9%	90%以上にする。	52.7%
市内の総合型地域スポーツクラブ、市体協に所属する会員数 <現状値：H27> 25,428 人	26,200 人以上にする。	24,735 人

目標を達成するための事業等

①スポーツ活動の普及推進

内容	実績	
スポーツ推進委員の活動促進	ニュースポーツ教室、健康体操教室	29 回、述べ 2,522 人参加
	自主活動	58 回、延べ 4,727 人参加
	体力測定会	4 会場
子どもの体力づくり指導者養成講習会		2 回開催、44 人参加
子どもの体力づくり教室		14 回開催、927 人参加
親子運動教室		2 回開催、71 組 137 人参加
スポーツ少年団等の活動支援	上越市スポーツ少年団補助金	交付率 100%
	ジュニアスポーツクラブ補助金	交付率 92.3%
ジュニアスポーツ大会・教室の開催及び支援	居多まつり武道大会補助金	交付率 100%
	スポーツ施設借上等補助金	交付率 50%
スポーツ活動サポート事業(小学校)	外部指導者派遣	延べ 262 回

②体育協会、各種スポーツ団体への支援

内容	実績	
スポーツ大会・教室等の開催及び支援	高田城ロードレース大会実行委員会補助金 大学ラグビー招待試合交付金 ビーチバレーボール大会補助金 ビーチラグビー大会補助金 新潟県縦断駅伝競走大会補助金 上越市民体育祭補助金	交付率 100%
えちご・くびき野 100 km マラソンの開催	えちご・くびき野 100 km マラソン実行委員会交付金	交付率 100%
体育協会への支援	上越市体育協会運営費補助金	交付率 49.9%

③総合型地域スポーツクラブの育成及び支援

内容	実績
総合型地域スポーツクラブの育成	研修会の開催 (11月 11 日)

**施策 2****競技スポーツの発展****□ 目標**

各種スポーツの競技人口を踏まえつつ、関連競技団体と連携を図りながらアスリート育成強化等に取り組み、スポーツ競技力の向上を図るとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピック（以下「東京オリンピック」という。）の開催の機会を捉え、関連施策と連携を図りながら、市民によるスポーツ活動の推進と競技力の向上を図ります。

**□ 成果指標と達成状況**

評価内容	平成 30 年度	達成状況（9 月末）
中高生の北信越大会の出場者数及び出場率 〈現状値：H27〉 162 人 1.42%	出場者数 155 人 出場率 1.4%以上にする。	出場者数 201 人 出場率 1.9%
小・中高生の全国大会出場者数及び出場率 〈現状値：H27〉 129 人 0.59%	出場者数 120 人 出場率 0.55%以上にする。	出場者数 230 人 出場率 1.1%
ジュニアトップアスリート育成強化事業指定競技種目における全国大会出場者数 〈現状値：H27〉 97 人	103 人以上にする。	述べ出場者数 77 人

**目標を達成するための事業等****①スポーツ競技力の向上及びアスリート育成強化事業の推進**

内容	実績	
小中高一貫指導システムの推進	ジュニアトップアスリート育成強化補助金	交付率 70.7%
	地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業補助金	交付率 100%
アスリート育成強化事業の推進	アスリート育成強化補助金	交付率 76.2%
スポーツ活動サポート事業 （中学生）の実施	外部指導者派遣	延べ 598 回

**②ジュニア選手層の指導を中心とした指導者養成の推進**

内容	実績	
スポーツ指導者養成事業として市体育協会へ補助金交付	上越市スポーツ指導者養成事業補助金	交付率 100%

**施策3****スポーツ環境の整備****□ 目標**

スポーツ関連施設の老朽化に適切に対応するとともに、ライフステージに応じた市民ニーズを踏まえ、安全かつ快適なスポーツ環境を提供します。

**□ 成果指標と達成状況**

評価内容	平成30年度	達成状況(9月末)
体育施設(体育館)の1施設当たりの年間延べ利用者数 〈現状値: H23~27 平均〉 22,951 人/施設	H23~27 平均実績の利用者数を上回る。	14,784 人/施設
体育施設(野球場)の1施設当たりの年間延べ利用者数 〈現状値: H23~27 平均〉 7,826 人/施設	H23~27 平均実績の利用者数を上回る。	5,710 人/施設
体育施設(多目的広場)の1施設当たりの年間延べ利用者数 〈現状値: H23~27 平均〉 5,958 人/施設	H23~27 平均実績の利用者数を上回る。	4,708 人/施設
体育施設(テニスコート)の1施設当たりの年間延べ利用者数 〈現状値: H23~27 平均〉 6,370 人/施設	H23~27 平均実績の利用者数を上回る。	5,812 人/施設

**目標を達成するための事業等****①スポーツ活動の普及推進**

内容	実績
浦川原体育館トイレ便器入替工事	平成30年11月8日(完了)
柿崎屋内水泳プール下水道接続工事	平成31年1月5日(完了予定)
大瀧体操アリーナ下水道接続工事	平成30年8月8日(完了)
大瀧体育センター体育室床塗装修繕工事	平成31年1月15日(完了予定)
高田スポーツセンター2階床塗装修繕工事	平成30年11月14日(完了)
スポーツ公園野球場照明設備改築工事实施設計業務委託	平成31年1月31日(完了予定)

**②体育施設の再配置の推進「上越市公の施設の再配置計画の推進」**

内容	実績
検討中	-

**③拠点施設・専門施設の整備**

内容	実績
上越市総合体育館駐車場舗装修繕工事	平成30年10月30日(完了)
高田公園野球場防球ネット設置工事	平成31年3月15日(完了予定)
(仮称)上越市体操アリーナ整備事業	平成31年11月30日(完了予定)

# 平成 31 年度 予算要求方針とポイント（スポーツ推進課）

## 【現状と課題】

- 市民のスポーツ活動に関する状況**
  - 東京オリンピック・パラリンピックを契機として、スポーツを推進する必要がある。特に、障害者スポーツへの理解の促進、障害者の運動実施率向上などに努めることで、より多くの市民からスポーツに親しんでもらう必要がある。
  - さらに、スポーツ推進委員、総合型 S C、障害者団体などが、お互いの活動や現状を理解・把握し、連携して事業に取り組むことにより、健全者や障害者という垣根をなくしたスポーツ活動の場をつくる必要がある。
  - スポーツの持つ「健康増進の効果」を意識し、他部署と共同しながら、市民の運動機会の増加を図る必要がある。
  - 総合型地域スポーツクラブ（以下、総合型 S C）の設立を進めていくためには、「スポーツ推進ありき」の総合型 S C だけではなく、「スポーツを切り口とした地域課題の解消や地域づくり」という視点に立って、総合型 S C になり得る母体を探し、設立を働きかけていく取組が必要である。
- 競技スポーツに関する状況**
  - 日本体育大学との連携を一層進め、競技力の向上につなげていく必要がある。
  - 中学校の運動部活動について、指導者確保や教員の多忙化解消のため、学校教育課と共同し、学校の現状と教育委員会として支援できる内容を精査し、各学校の部活動に適した支援策を検討する必要がある。
- 東京オリンピック・パラリンピックに関する状況**
  - 事前合宿の機会をいかし、市内の競技者や市民から合宿の受入に参画（観る・支える）してもらうことを通じて、受入れ体制を整えるとともに、競技者の競技力向上、市民のスポーツに対する親しみと関心を高めるようにする必要がある。
- スポーツ施設に関する状況**
  - （仮称）上越市体操アリーナは、平成 31 年 12 月の竣工を目指して整備を進めていく。また、新アリーナの設置効果を高められるよう、各団体の施設利用に加え、ソフト事業の内容や運営体制を整備する必要がある。
  - スポーツ施設は、老朽化が年々進んでいくことから、施設の再配置計画を踏まえた中で、計画的な修繕に取り組み、安全で快適なスポーツ環境を維持する必要がある。

## 【目指すべき姿】

「いきいきスポーツ都市宣言」  
 スポーツに親しみ、健康な心とからだを培い、ふれあいと  
 支えあいの輪を広げ、活力あるまちづくりを進める



## 【スポーツ推進課の取組方向（重視する視点）】

- 【取組方向①】 市民のスポーツ活動の推進**
  - 多くの市民がスポーツに関わる場の提供
  - 健康増進の視点も取り入れたスポーツ機会の提供
  - 地域の課題解決や地域づくりといった視点からの総合型 S C の設立支援、活用
- 【取組方向②】 競技スポーツの推進**
  - 「小中高一貫指導による競技力向上」に対する支援
  - 日本体育大学との連携による競技力向上の取組
- 【取組方向③】 東京オリンピック・パラリンピックホストタウンの取組推進**
  - 合宿受け入れ体制の整備と、市民の「観る・支える」機会の創出
  - ホストタウンとしての市民の機運醸成
- 【取組方向④】 スポーツ施設の環境整備、活用**
  - （仮称）上越市体操アリーナの竣工
  - 「体操のまち上越」に向けた新アリーナの活用  
 …選手の競技力向上、市民の健康増進、武道館など他施設も含めたコンベンション誘致
  - 既存スポーツ施設の機能の維持・向上

## 【平成 31 年度の主な取組（予定）】

- 保健体育総務費**
  - 【事業内容】
  - スポーツ推進委員の活動支援の充実
- 少年スポーツ育成事業・一般スポーツ活動推進事業**
  - 【事業内容】
  - スポーツ推進委員、総合型 S C、障害者団体等が行う行事等への相互参加の働きかけ、支援
  - 総合型 S C との連携による健康増進に資するスポーツ機会の提供
  - 日体大から競技団体への指導者派遣
  - スポーツ団体等への各種補助事業の実施
- 地域スポーツクラブ育成事業**
  - 【事業内容】
  - 総合型地域 S C の設立支援
  - 中学校運動部活動への指導者派遣
- 東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業**
  - 【事業内容】
  - ドイツチームの合宿受入
  - ホストタウン P R イベントの実施
- 体育施設整備事業、体育施設管理運営費**
  - 【事業内容】
  - （仮称）上越市体操アリーナ本体工事、体操器具類の整備
  - （仮称）上越市体操アリーナの供用開始に向けた施設管理や「体操のまち上越」に向けたソフト事業等の運営方法の整理
  - 既存スポーツ施設の維持修繕
  - スポーツ施設及び設備の再配置計画の検討